

部活動に係る活動方針 (平成31年度)

流山市立南流山中学校

1 部活動の位置付け

部活動は、学校が教育活動の一環として設定し、スポーツ・文化・科学・芸術等に興味・関心をもつ同好の児童・生徒が、学級や学年の枠を超えて組織し、部員相互の切磋琢磨や自己の能力に応じて、より高い水準の知識、技術や記録を追求することを通して、活動そのものの楽しさや喜びを味わうとともに、豊かで充実した学校生活を創造するもので、学校が教育課程外に計画し、実施する教育活動である。

<中学校学習指導要領 第1章 総則 第4の2 (13) >

生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、地域や学校の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行うようにすること。

2 部活動の意義

部活動は、異年齢集団による自主的・自発的な活動を通じて、豊かな人間性や人間関係、規範意識や社会性、協調性などの育成を図り、健全な人間形成を目指すとともに、生涯にわたってスポーツや文化に親しむ能力や態度を養うことを目的とする。



3 部活動の種類

本校の部活動は、運動部12、文化部4の合計16部から構成される。

◆運動部 (12)

- ・陸上競技部
- ・野球部
- ・サッカー部
- ・ソフトボール部
- ・ソフトテニス部
- ・男子バレーボール部
- ・女子バレーボール部
- ・男子バスケットボール部
- ・女子バスケットボール部
- ・剣道部
- ・ハンドボール部
- ・駅伝部 (特設)

◆文化部 (4)

- ・吹奏楽部
- ・美術部
- ・手芸部
- ・コンピュータ部

4 運営方針

部活動は、異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教員等との好ましい人間関係の構築を図るとともに、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感、規範意識の涵養に資するなど、教育的意義は大きい。また、学校教育の一環であり、教育課程との関連が図られるよう留意する必要があることから、生徒の発達段階や健康面などを十分考慮しながら、全職員の共通理解のもと、各部の活動計画に基づき、系統的、組織的に運営していくものとする。

5 休養日及び活動時間等

練習については、大会や練習試合もあわせ、学校長の承認のもと、計画的に行う。

- ①練習時間は、平日は朝練習を含めて2時間程度、休日は3時間程度とする。ただし、練習時間には、登下校や準備、後片付けの時間は含まない。
- ②1週間のうち、平日に1日は休養日を設ける。(原則水曜日の朝及び放課後の学級優先は部活動を行わない。)
- ③大会・コンクール前や大会・コンクールを除き、原則土曜日、日曜日のいずれかに1日休養日を設ける。
- ④大会・コンクール参加に向けて、休日に連続して活動が必要となる場合には、最大で4週間前からとする。
- ⑤土曜日や日曜日、祝日等の休日に連続して部活動を実施する場合は、直後の週の平日に、その代わりとなる休養日を設ける。ただし、大会・コンクール等に勝ち残り、さらに長い活動が必要な場合には、校長の承認により他の週に休養日を設ける。
- ⑥審判の技術向上等のため、1日3校での練習試合を計画することがあるが、実質の練習時間は3時間程度とし、校長及び保護者の承諾を得た上で実施する。
- ⑦遠征試合については、引率時間を含めると、集合から解散まで4時間以上となるケースが生まれるが、できるだけ精査して必要最小限とし、校長及び保護者の承諾を得た上で実施する。
- ⑧長期休業中の練習については、休日と同様に原則3時間程度とし、課業期間に準じて1週間のうち、原則平日に1日、土曜日、日曜日のいずれかに1日休養日を設ける。
- ⑨朝練習の解錠は午前7時、活動可能時間は午前7時10分から同7時45分までとする。また、放課後の練習時間については、帰りの会終了10分後から朝練習を含めて2時間程度までとする。
- ⑩小中体連小中体連関係、流山市民大会及び校長が必要と認めた場合、その大会前の7日間について、校長及び保護者の承諾のもと、30分の延長練習を行うことができる。ただし、延長練習を含めて1日の練習時間が2時間程度になる場合に限る。

①定期テスト（中間・期末）に向けての部活動停止期間は、テスト当日の4日前から終了日の朝練習までとする。

6 その他

(1) 留意事項

①大会やコンクール、練習試合等の校外での活動の場合、自転車の使用は原則禁止とする。

②暑さ指数（WBGT）が31℃以上の場合、運動部の活動は原則中止とする。また、33℃以上の場合については、屋外及び体育館等での活動はすべて中止とする。

(2) 組織体制

本校では、部活動は学校教育目標及び「目指す生徒像」の実現に向けて効果が期待されるだけでなく、生徒の人間形成の場として、また、保護者・地域から期待される生徒の健全育成に寄与する場として、学校運営上の重要な柱の一つに位置付けている。

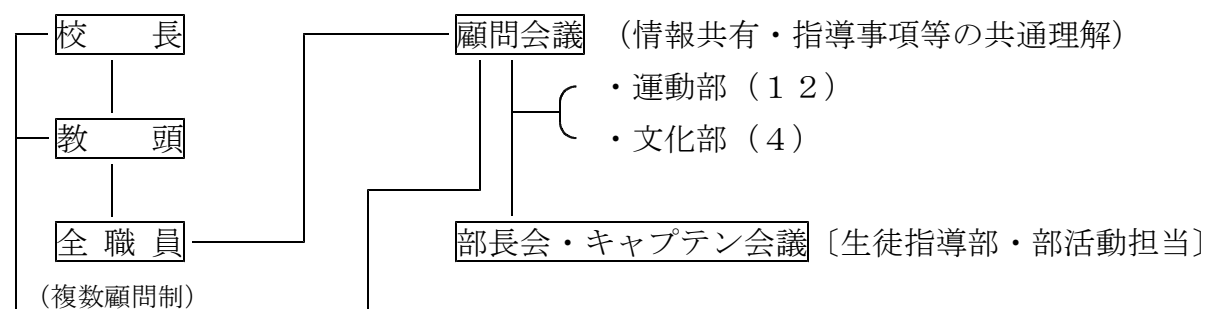
《学校》

【学校教育目標】

「自分を大切に、他者も大切にする生徒の育成 ～Be Humane～」

<目指す生徒像> 「まじめに、楽しく、心合わせて」

- (1) あいさつを大切にする生徒（あいさつは他者を大切にする第一歩）
- (2) 誰からも謙虚に学べる生徒（謙虚な学びは成長の原動力）
- (3) 根気強く取り組む生徒（根気は人生の宝）
- (4) 失敗を恐れずチャレンジする生徒（失敗は学びの宝庫）



協力・連携

《家庭・地域》

部活動保護者会

学校支援地域本部（外部指導員の活用）

①顧問会議

部活動に関する基本的な考え方や活動方針、全体計画等のもと、顧問同士が意見交換を行ったり、共通理解を図ったりする会議で、各部の活動状況の把握や問題点の協議など、運営上の課題の検討及び解決も図る。年度初めと新体制に移行した時期（4月と9月）の定期的な会議の他、必要に応じて適時実施する。

②部長会（キャプテン会議）

各部の代表者による部長会は、部活動の基本方針や約束等についての共通理解を図り、日常の活動で生じる問題点などを自主的に話し合い、協力して解決する会議で、年度初め（4月）と新体制になった時期（9月）の年2回を定例とし、その他に必要なに応じて実施する。

(3) 家庭・地域との連携

①部活動保護者会

部活動の円滑な運営を図るため、部活動に関する指導方針や活動計画等について、保護者と共通理解を図ることを目的に実施する。年度初めと新体制に移行した時期の2回の開催を原則とし、必要に応じて適宜実施する。年度初めの保護者会は、部活動見学も含める。

②緊急連絡方法

本校では、部活動に関わる家庭への緊急連絡の方法として、メール配信による方法をとっている本校では、保護者との緊急の連絡方法として、

③外部指導者

昨年度より「地域学校協働本部」が設置されたことから、今後検討していく予定である。